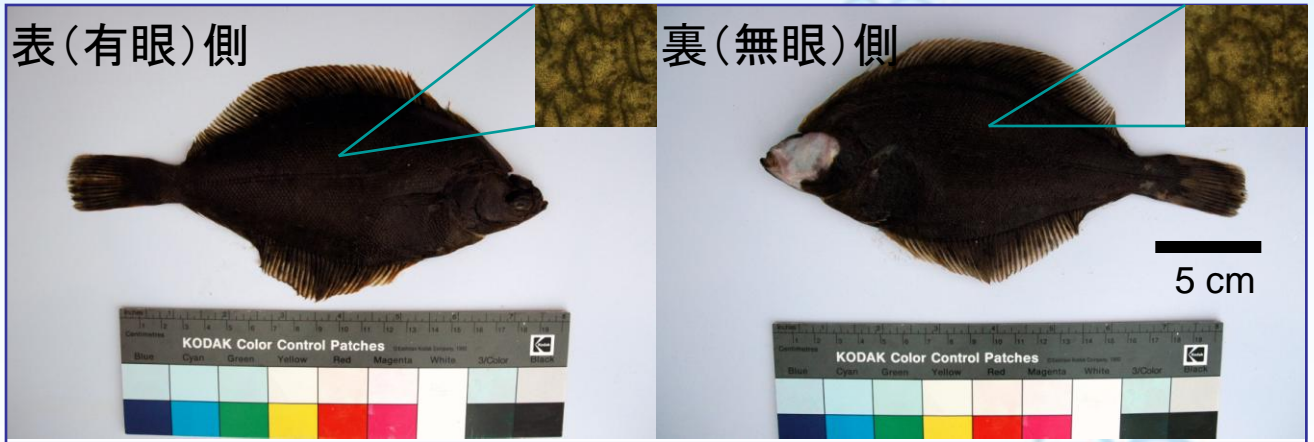
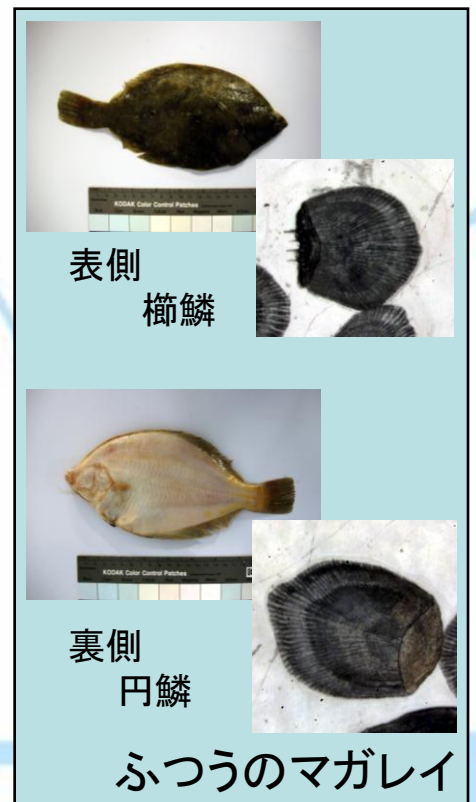
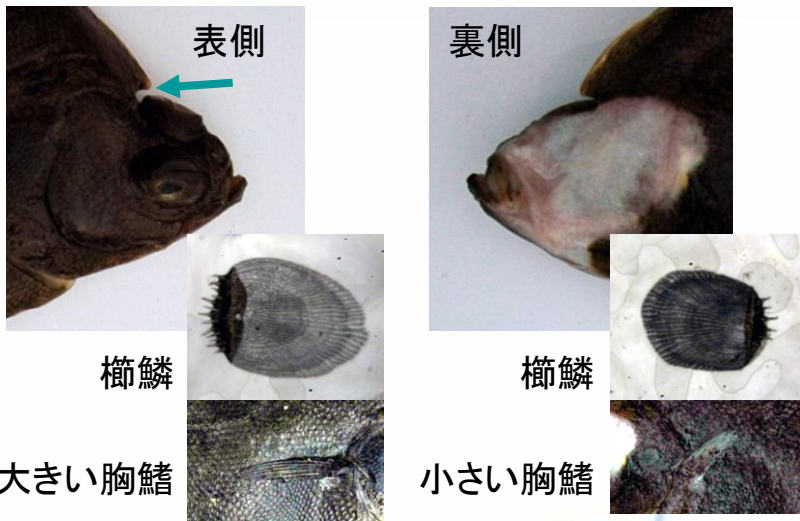


枝幸沖で獲れた 珍しいマガレイについて

枝幸沖の刺網で、体の裏側(無眼側)も黒い、珍しいマガレイが漁獲されました。



平成20年12月22日漁獲 枝幸町問牧沖 カレイ刺網 水深 30 m 体重 93 g 全長 211 mm



ふつうのマガレイは両方の目が体の右側にあり、体色が表側と裏側で異なり、鱗の形も違うなどの、強い左右非対称性が見られます。この珍しいマガレイは、裏側も黒く、鱗は両側とも櫛鱗(せつりん)で、これはふつう表側のみに見られる形の鱗です。また、目の移動が途中で止まった状態で、写真に矢印で示したように頭部にくぼみがあります。しかし、裏側の顔の一部が白く、胸鰭は表側と裏側で大きさが異なるなど、ふつうのマガレイと同じような左右非対称性を示している部分もあります。つまり、この珍しいマガレイには、体の両側が“表側化”している部分と、正常どおりに左右非対称性を発現している部分とが混在しているようです。

マガレイの体色異常や目の移動異常は、飼育下ではよく見られるのですが、天然での報告は、特に目の移動異常についてはまれです。飼育技術の向上により、奇形の防除法は進歩しています。しかし、カレイ類の左右非対称性形成のメカニズムについては未だ謎が多く、発生学や遺伝学的アプローチによる研究が世界各地で進められています。